

Global Highway の概要の説明

積込・船内見学会 2019年7月26日(金曜日)

- ① 所属 船名 : Global Highway
船主 : 川崎汽船株式会社の外国法人会社 (パナマ)
運航 : 川崎汽船株式会社 (K Line)
船舶管理 : "K" Line RoRo Bulk Ship Management Co., Ltd (神戸)
- ② 造船所 : 日本 株式会社 新来島どっく 大西工場、2016年3月竣工
同型船 10隻発注分の第3船として竣工した。
- ③ 船の大きさ : 国際総トン数 75,036トン、最大積載重量 20,686トン、
全長 199.96m、全幅 38m、オーバーパナマックス。
最大高さ 約 45m (船底からマストの先端まで)
- ④ 燃料 : 燃料は重油、タンク容量 約 2,800トン
エンジン : 主機の出力 約 18,000馬力、燃料消費量 約 40~50トン/日
速度 : 船速 最大 20ノット (37km / 時間、1ノット (海里) は: 1,852m)
- ⑤ 下松入港時 : 入港時は、船底から水面まで約 7.5m、水面から居住区のある上甲板まで約 35m、
艙内の甲板数 12デッキ、(鉄道車両や大型建機などの背の高い貨物を積載するため、
デッキの高さが三段階に調整できる構造となっている)
- ⑥ 自動車運搬 : 最大積載台数 普通乗用車(トヨタコロナ)換算で、約 7500台 (世界最大級)
乗用車の前後 30cm、左右 10cmのクリアランス間隔で、最大 7,500台積載可能。
荒天時の船体動揺時に車両が移動して、隣接の車両同士が接触・損傷を防止するために、
前後に最低 2本ずつ (車体重量により合計 4本~6本) の固定ベルトで固縛する。
艙内の側壁には固定ベルトを 3万本以上配置している。固定ベルトは、乗用車用と大型建機用など、
車両重量により強度の違ったベルトを使用する。
- ⑦ バラスト水 : 船の安定を保つためのバラスト水、タンクの容量 約 6,000トン
バラスト水を他国で排出する時には、他国でバラスト水に含まれる微生物等を排出して海洋環境破壊を防止するために、
国際条約である「バラスト水管理条約」に従って、バラスト処理装置を通して排水。
- ⑧ 消火と換気
消火設備 : 災発生時、船倉の全容積を約 10分間で消火泡を充填できる能力の高膨張式泡消火装置が設備されている。
換気設備 : 乗用車の荷役時の排気ガスを換気するために、全船倉内の空気を 1時間に 12回入れ替えることのできる換気装置を設備している。
- ⑨ 乗組員 : ブルガリア人の船長以下、日本人、ウクライナ人及びフィリピン人の混乗で、船長、
機関長、コックさん等を含めて、24名の乗組員が乗船していて、船内の公用語は英語。
- ⑩ 今回の航行 : 下松で英国向け高速鉄道車両を 15~22両積載して、その後、名古屋に寄港して
残りのスペースに欧州向け乗用車を満載する。
日本を出港後、シンガポール (補油) ~スエズ運河~地中海経由欧州諸港に寄港して、
車両並びに高速鉄道車両を揚荷する。その後、欧州で製造された乗用車をアジア、
日本向けに積載して、スエズ運河経由帰港する。各寄港地での荷役等の関係で、
日本~欧州~日本 (1航海) が約3ヵ月。
下松での船積が月一回のために、同型船3隻が順番に、月に一回、定期的の下松港に寄港していた。

以上